



Title : 図書館はちいさな美術館

オリンピックのせいで寝不足の方も多いと思います。11 日午前3時頃に夜の空気を吸おうと外に出ると、東の空にスバルがずいぶん高く見えているのに驚きました。それに、寒い。昼は暑い日が続きますが、秋の気配はそこかしこに感じられます。そういえば今日と明日はペルセウス座流星群のピークです。月も早く沈むので観測条件はいいし天気予報も晴れ、極大は本日12日の22時頃だそうです。

❖図書館で美術鑑賞

一般的ではないかもしれませんが、文科芸術系の保存施設についてMLAという言い方があります。Mはミュージアム（美術館・博物館）、Lはライブラリー（図書館）、Aはアーカイブ（文書館）の頭文字です。詳しく説明する紙幅はないので、資料・情報を収集保存して利用に供する近縁施設だと言うにとどめますが、近年これらの施設の連携が盛んに言われるようになっていきます。

図書館は本や雑誌、新聞などの紙媒体だけを保存してはおりません。中央図書館が所蔵する「真崎文庫」は菅江真澄の一次資料として有名ですが、真崎勇助が収集した資料は紙物だけではなく、石などの博物資料も大量にあるのです。また、図書館が保存している郷土資料には、大館市や市議会が作成した各種の公文書も多く含まれます。美術関係では、数は多くないものの伊藤弥太（1892-1975）を始めとする郷土の画家の作品を常時展示しています。

ということで、中央図書館では新たに「図書館の中のちいさな美術館」という催しを始めました。2階ロビーの一画、というか壁一面という小さなスペースに、大館の芸術の今を知ることのできる作品を展示していく試みです。皮切りとして、「蒼杉（そうさん）会」の会員7名の絵画を8月一杯の予定で展示しています。中央公民館などで開催されるような規模ではありませんが、誰でも気軽に鑑賞でき美術に関心を持つ場になるよう願っています。絵画以外にもいろいろな作品を展示できればと思います。どうぞお越してください。

❖図書館で美術を語り合う

たまたま前項とリンクしてしましますが、25回目となる8月の「図書館でホットタイム」は「美術館・感動の一枚」がテーマです。今回はゲストを招かず、参加者同士で自由に話し合うスタイルをとります。美術について、感動した一枚の絵画についてなど、ゆるやかに、楽しく語り合ひましょう。8月24日（水）中央図書館2階視聴覚室にて、12時開室、13時から15時までです（入退室自由）。お待ちしております。

❖ぬいぐるみのおとまり会再び

5月に開催して好評だった催しの第2弾です。「秋のぬいぐるみのおとまり会」は9月24日（土）19時から25日（日）まで。大好きなぬいぐるみが図書館にお泊りして、子どもたちの代わりにいろんな体験をします。対象は小学校2年生までの、市立図書館の利用カードを持っている子どもたち（のぬいぐるみ）です。

定員は限定 12 名（体）。土曜日はぬいぐるみと一緒に読み聞かせを楽しみ、日曜日は、参加は任意ですが初めての試みとしてアルバムづくりのワークショップも行います。申込受付は既に始まっており 8 月 31 日（水）まで。ただし、定員に達し次第受付終了となりますので申し込みはどうぞお早めに。

10 日夜から 11 日の朝まで夜っぴてこの原稿を打っていると、リオ五輪では体操の内村航平選手の劇的な大逆転金メダル！水泳男子 800 m リレーの銅メダルといい、やっぱりオリンピックはドキドキのドラマがたまりませんね。それでは皆さんどうぞ良いお盆休みを。お盆期間も図書館は通常どおり開いています。どうぞご利用ください。（陽）